

令和6年度、「第42回子どもの主張意見文コンクール」において、地域内、中神小学校2名・玉川小学校1名の3作が入選されました。お祝いの記念としての意見文を掲載させていただきます。
地域の皆さん、この子どもの主張意見文をご覧ください。

優秀賞 心地よく過ごせる昭島市へ
玉川小学校 六年 片倉 雄輔

僕は、野球のチームに入っています。野球の練習や試合は、昭島市のくじら公園の野球場でよくやります。そのくじら公園では、サッカーやテニス、ラグビーなどのいろいろなスポーツをやっている人がいます。このような、みんなで使う公園を守っていきたくて考えるようになりました。ある日、市外に野球の試合で行くことになりました。その野球のグラウンドは、とてもきれいでゴミがなく、心地よく野球ができました。僕は、このとき思ったことがあります。それは、「ゴミがないと気持ちよく過ごせる。」ということです。ゴミが落ちていない環境の大切さを初めて実感しました。

僕の家の隣には、公園があります。その公園では、学校の友達やまだ小学校に入っていない保育園児なども遊んでいて、みんな楽しく過ごしています。僕が、五年生のとき、その公園で放課後に友達と遊んでいました。すると公園に袋のゴミが落ちていました。しかし、僕もその友達もそのゴミを拾わずに、「まあ、いいや。」と思って見ないふりをしてしまいました。その後、違う学年の子のお母さんが、ゴミ袋とトングを持って、その公園のゴミを拾っていました。草むらの中や遊具の下、ベンチの裏などすみずみまで探していました。そしてこのとき、そんな人達のおかげで公園で気持ちよく過ごせることができるんだと感じました。それから僕も、公園で遊ぶときはゴミが落ちていたら拾って、家に持って帰って捨てることにしました。すると、友達も一緒にゴミを拾ってくれるようになり、だんだん公園のゴミが減ってきて、「遊んでいて心地よい公園」に

なってきました。
この間、昭和公園に行きました。いろいろなところに缶のゴミやお菓子の袋などが落ちていて、とても目立っていました。まだ、全ての公園が、きれいな環境というわけではありません。ゴミがポイ捨てされてしまう現状に目を向けなくてはなりません。
このように、昭島市が、「心地よく過ごせる町」になるように、一人一人がゴミを捨てないこと、ゴミを拾うことを意識することが大事です。また、子供も大人も参加できるゴミ拾いのイベントや、ゴミを多く拾えるかの競争などのイベントを開催して、もっと昭島市をきれいにする活動が増えてほしいです。

昭島市に住んでいる人のみんなが、昭島市をきれいにしたいという気持ちをもって、一人一人にできることや市のみんなで取り組み、自分たちが住む昭島市をだれが見てもきれいで、心地よい町にしていけるようにしたいです。



11月・12月活動予定

催 事 案 内		日 程		開 始 時 間	場 所	
芸能部会	第19回芸能祭	12 月	1 日（日）	午前10時30分 ～	昭島市公民館・小ホール	
部 会 名		日 程		開 始 時 間	場 所	部員数
運営委員会		12 月	12 日（木）	午後 7時 ～	朝日会館第2集会室	
地域活動部会	定例会・休会					48
防犯防災部会	定例会	11 月	26 日（火）	午後 7時 ～	朝日会館コミュニティルーム	26
街並み部会	定例会	12 月	20 日（水）	午前 10時 ～	玉川児童遊園	13
芸能部会	定例会	12 月	15 日（日）	午後 3時 ～	朝日会館コミュニティルーム	9
広報部会	定例会	12 月	1 日（日）	午後7時30分 ～	朝日会館コミュニティルーム	9
自然と親しむ部会	定例会	11 月	27 日（水）	午後 7時 ～	朝日会館コミュニティルーム	35

※発行月第4週～翌月の活動予定です。記載のない部会は、事務局にお問合せください。